

## 長野旅行で社会見学

～ 11月25日(金)4年生が県庁等を見学 ～

3年生で学んだ屋代町や千曲市の身近な地域を長野県へと広げて学習をしています。

### 松代陶苑

**ねらい**：伝統的な松代焼きを再現・保護し、伝統的な地場産業を盛んにしていこうとする取組を知る。

**松代焼き**は、約200年前の江戸時代中期に誕生しました。明治時代にすたれてしまったものを昭和になって復活させたものです。松代陶苑さんで、大量の陶器を作るために、型に粘土を入れ、機械ろくろを使って成型している様子や、その後、乾燥→素焼き→ゆう薬をかける→本焼きの工程で作られているところを見学しました。形ができたり、ゆう薬がつけられたりすると、「すご〜い！」の声。自分でも作ってみたいくなりました。



機械ろくろ

### 長野県庁

**ねらい**：長野県の政治を中心になってすすめている県庁を見学し、県議会の役割・県知事の仕事・災害対策本部の役割等を知る。



県議会

**県議会本会議場**では、傍聴席から、県知事や理事者（県の仕事をすすめる責任者）、58人の議員等が座る場所を教えてくださいました。現在は12月議会が始まっており、長野県に住む人々が幸せに安心して暮らしができるように、話し合いが行われていることを学習しました。

県庁3階のりっぱな**知事室**にも入れてもらいました。

そこで、知事のある日の一日の仕事を説明していただき、長野県のために忙しく働いていることを知りました。1998年冬季オリンピック・パラリンピックのメダルのレプリカも見せていただきました。

西庁舎3階にある**災害対策本部室**は、地震や豪雨、大雪、火災等の大きな事故が

発生したときに、どのように対応をしていくか話し合いをする場所でした。正面にある大型スクリーンを使って、長野県の情報を集め、全県に無線を使って対策を指示していく様子を学習することができました。



知事室



防災対策本部

# 長野市立博物館

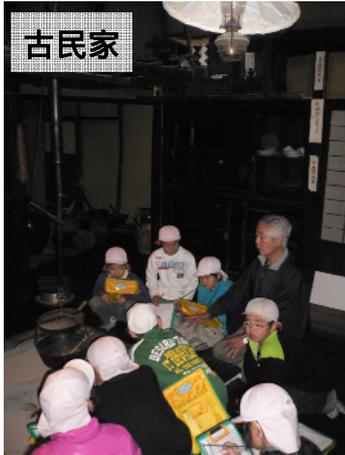
**わらい**：古くから残る暮らしにかかわる道具やそれが

伝わっていたころの暮らしを調べ、人々の生活の変化を知る。

昭和初期まで使われていた火のし（アイロン）や張り板（洗濯道具）、くけ台（裁縫道具）を当てる**昔の道具クイズ**や戸隠から移築した**古民家**で昔の暮らしを学習しました。

また、**体験学習**として「たわら編み」（米俵を編む方法でコースター作り）や「さき織り」（さいた布を横糸にして機織り）を行いました。実際にやってみることで、大変さと同時に楽しさも味わうことができました。

現代社会が、昔の人々の苦勞や努力によって、生み出されてきたことに、感謝をしたいものです。



古民家



機織り体験

24日（木）・25日（金）2年生が生活科で**豆腐作り**。滝沢豆腐店さんにご指導いただき、豆腐が出来上がりました。

## 豆腐ができるまで



ミキサーでかく



一度、沸騰させる



しばって豆乳にする



にがりを入れる



ざるに入れる



## 最近の学校生活から

1年松組 小林史草先生がご懐妊され、松組の体育の授業（週3時間）を山本敦子（あつこ）先生にご指導いただきます。よろしくお願いします。



24日（木）1年生と6年生と一緒に栽培したサツマイモで**焼き芋大会**。仲良く遊んだ後、おいしくいただきました。

